

# 高等部 1年生 理科 年間計画

## 【1段階】

指導内容	単元名（仮） *各教科等を合わせた指導で行う
<p><b>A 生命</b>     <b>教科別の指導</b>     <b>生活単元学習</b></p> <p><b>ア 植物の発芽、成長、結実:</b>植物の育ち方について、発芽、成長及び結実の様子に着目して、それらに関わる条件を制御しながら調べる活動 (ア) 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。 ⑦ 植物は、種子の中の養分を基にして発芽すること。 ⑧ 植物の発芽には、水、空気及び温度が関係していること。 ⑨ 植物の成長には、日光や肥料などが関係していること。 ⑩ 花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができること。 (イ) 植物の育ち方について調べる中で、植物の発芽、成長及び結実とそれらに関わる条件についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現すること。</p>	<p>「植物の発芽と成長」*小5 ① 種子が発芽する条件 ② 種子の発芽と養分 ③ 植物が成長する条件 *小の5年指導要領と同じ。「調べる」が「追究」になっているだけ。</p>
<p><b>A 生命</b></p> <p><b>イ 動物の誕生:</b>動物の発生や成長について、魚を育てたり人の発生についての資料を活用したりする中で、卵や胎児の様子に着目して、時間の経過と関係付けて調べる活動 (ア) 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。 ⑦ 魚には雌雄があり、生まれた卵は日がたつにつれて中の様子に変化してかえること。 ⑧ 人は、母体内で成長して生まれること。 (イ) 動物の発生や成長について調べる中で、動物の発生や成長の様子と経過についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現すること。</p>	<p>「メダカのたんじょう」*小5 ① メダカのたまご 「ヒトのたんじょう」*小5 ① ヒトの受精卵 *小の5年指導要領と同じ。「調べる」が「追究」になっているだけ。</p>
<p><b>B 地球・自然</b>     <b>教科別の指導</b></p> <p><b>ア 流れる水の働きと土地の変化:</b>流れる水の働きと土地の変化について、水の速さや量に着目して、それらの条件を制御しながら調べる活動 (ア) 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。 ⑦ 流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあること。 ⑧ 川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあること。 ⑨ 雨の降り方によって、流れる水の速さや量は変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場面があること。 (イ) 流れる水の働きについて調べる中で、流れる水の働きと土地の変化との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現すること。</p>	<p>「流れる水のはたらき」*小5 ① 地面を流れる水 ② 流れる水の量がかわるとき ③ 川の流れとそのはたらき *小の5年指導要領と同じ。「調べる」が「追究」になっているだけ。</p>
<p><b>B 地球・自然</b>     <b>教科別の指導</b></p> <p><b>イ 天気の変化:</b>天気の変化の仕方について、雲の様子を観測したり、映像などの気象情報を活用したりする中で、雲の量や動きに着目して、それらと天気の変化とを関係付けて調べる活動 (ア) 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。 ⑦ 天気の変化は、雲の量や動きと関係があること。 ⑧ 天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できること。 (イ) 天気の変化の仕方について調べる中で、天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現すること。</p>	<p>「雲と天気の変化」*小5 ① 雲のようすと天気の変化 ② 天気の変化のきまり *小の5年指導要領と同じ。「調べる」が「追究」になっているだけ。</p>
<p><b>C 物質・エネルギー</b>     <b>教科別の指導</b></p> <p><b>ア 物の溶け方:</b>物の溶け方について、溶ける量や様子に着目して、水の温度や量などの条件を制御しながら調べる活動 (ア) 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。 ⑦ 物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらないこと。 ⑧ 物が水に溶ける量には、限度があること。</p>	<p>「もののとけ方」*小5 ① 水にとけたものの重さ ② ものが水にとける量 ③ とかしたものを取り出すには *小の5年指導要領と同じ。「調べる」が「追究」になっているだけ。</p>

㊦ 物が水に溶ける量は水の温度や量, 溶ける物によって違うこと。また, この性質を利用して, 溶けている物を取り出すことができること。  
(イ)物の溶け方について調べる中で, 物の溶け方の規則性についての予想や仮説を基に, 解決の方法を考え, 表現すること。